

令和8年第1回龍ヶ崎市議会定例会
一般質問一覧表

番号	議員	質問の要旨
1	山宮留美子	<p>1 萩原市長1期目の総括と2期目の具体的施策について</p> <p>(1) 市長が自信を持って語れる1期目の実績とは</p> <p>(2) 1期4年間で市民に一番喜ばれたと感じる実績は</p> <p>(3) 市長が感じる1期目最大の成果と課題は</p> <p>(4) 実現できなかった公約の今後についての考えは</p> <p>(5) 2期目の人口減少対策についての考えは</p> <p>(6) 2期目の公共交通に対する考えは</p> <p>(7) 城南中学校の跡地活用の進捗状況について</p> <p>(8) 松葉、長山、大宮、小学校の跡地活用について</p> <p>(9) 2期目の4年間で必ず実現したい公約は</p> <p>(10) 市長として2期目4年の責任と覚悟について</p> <p>2 多文化共生社会に対応した学校教育体制の充実について</p> <p>(1) 市内小中学校の外国人児童生徒数(学校別に)</p> <p>(2) 日本語指導が必要な児童生徒数は</p> <p>(3) 保護者との連絡や進路指導について多言語対応が行われているのか</p> <p>(4) 不就学の児童生徒の把握と対応について</p> <p>(5) 外国人児童生徒の様々な支援体制の内容について</p> <p>(6) 日本人児童生徒への影響について</p> <p>(7) 教職員の負担について</p> <p>(8) 多文化共生社会に対応した学校教育体制の充実についての教育長の考えは</p> <p>(9) 市として真剣に取り組まなければならない課題についての対応は</p>
2	久米原孝子	<p>1 やさしい日本語の活用について</p> <p>(1) やさしい日本語の活用状況について</p> <p>(2) 職員向けのやさしい日本語研修について</p> <p>(3) やさしい日本語の活用と普及啓発について</p> <p>2 里親制度について</p>

		<ul style="list-style-type: none"> (1) 里親の現状について (2) 短期の養育について <ul style="list-style-type: none"> ア 一時的な保護を要する際の対応について イ 子育て短期支援事業について (3) 里親制度の普及啓発について <p>3 脱炭素の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 現在の取組について (2) 公共施設のEV充電設置について (3) ソーラー防犯灯への移行について <ul style="list-style-type: none"> ア ソーラー防犯灯の費用対効果について イ ソーラー防犯灯の有効性と移行について
3	大野みどり	<ul style="list-style-type: none"> 1 耕作放棄地・遊休農地問題の解決策について <ul style="list-style-type: none"> (1) 耕作放棄地・遊休農地の面積と推移 (2) 耕作放棄地・遊休農地の原因や問題点について (3) 耕作放棄地・遊休農地問題の解決策と他自治体の事例について (4) 農地中間管理機構（農地バンク）の現状 (5) 農地の担い手不足の現状と取組について (6) 耕作放棄地・遊休農地問題をどう考えるか 2 学校給食における食品ロス削減と食育の取組について <ul style="list-style-type: none"> (1) 学校給食から発生する食品ロス等の現状について <ul style="list-style-type: none"> ア 児童生徒一人あたりの年間食品廃棄物について イ 原因と削減する取組 ウ 給食残渣の再利用について (2) 学校で食育に取り組む意義 (3) 「食育ティーチャー事業」について 3 閉校等による備品譲渡会について <ul style="list-style-type: none"> (1) 旧城南中学校の備品譲渡会について (2) 旧長戸小と旧北文間小の備品について (3) 湯ったり館の備品譲渡会について
4	札野章俊	<ul style="list-style-type: none"> 1 農業法人の事業計画中止について <ul style="list-style-type: none"> (1) (株) サラからの報告内容 (2) 予定地の今後の計画と地権者の意向

		<p>(3) 税務署や裁判所など国の機関の移転推進を図るべき</p> <p>2 市民の声の集約について</p> <p>(1) 高校生のまちづくり提言の内容と事業の位置づけ</p> <p>(2) 市外在住の高校生の意見と市民の意見の相違について</p> <p>(3) 本事業の今後について</p> <p>(4) 公共施設再編成市民フォーラムの内容と目的</p> <p>(5) 松葉・長山の人口ピラミッドにより高齢者をターゲットとした事業の推進</p> <p>(6) 今後のスケジュール</p> <p>3 公共交通の再編と街づくりの方向性について</p> <p>(1) 龍ヶ崎まちづくり研究会主催のまちづくりミーティングの感想</p> <p>(2) バス・タクシードライバー不足に対する将来不安と今後の見通し</p> <p>(3) 富山ライトレールと宇都宮ライトレールの事業決定理由の認識</p> <p>(4) 名古屋SRTの認識 計画の経緯</p> <p>(5) 市内移動の公共交通が不可欠な龍ヶ崎市に新しい交通手段が必要</p>
5	大 竹 昇	<p>1 持続可能な龍ヶ崎市創出について</p> <p>(1) 人口減少・定住促進について</p> <p>ア 定住促進支援策について</p> <p>イ 奨学金返済支援策について</p> <p>ウ 二地域居住の推進について</p> <p>(2) 龍ヶ崎市街地のまちおこしについて</p> <p>ア 立地適正化計画に基づく居住誘導区域について</p> <p>イ 龍ヶ崎市街地における居住誘導区域について</p> <p>ウ 中心市街地における空き店舗等の活用策について</p> <p>エ 官民連携（PPP/PFI）の取組について</p> <p>(3) 産業・雇用政策について</p> <p>ア 企業誘致の取組について</p> <p>イ 創業支援の取組について</p> <p>ウ 農業支援（スマート農業等）の取組について</p> <p>(4) 都市づくりのランドデザインについて</p>

6	伊藤悦子	<p>1 自転車の安全走行について</p> <p>(1) 市内の自転車事故と違反行為について</p> <p>ア 自転車事故の発生件数の推移</p> <p>イ 自転車側の過失による事故の原因となった違反内容について</p> <p>ウ 自転車側の過失による事故発生の時間帯・場所などの特徴は</p> <p>(2) ルールの周知について</p> <p>(3) 安全対策について</p> <p>ア 児童生徒への安全指導について</p> <p>イ 高齢者への安全対策について</p> <p>(4) 自転車が歩道を走る場合について</p> <p>ア 実際に歩道を走る場合の「やむを得ない」ケースとは</p> <p>イ 市内の自転車専用通行帯や自転車が通行可能な歩道は</p> <p>ウ 新しく都市計画道路に自転車通行帯を設置する考えは</p> <p>2 小中学校の学校給食費無償化について</p> <p>(1) 無償化の意義について</p> <p>(2) 令和9年度以降も継続することについて</p> <p>3 街づくりについて</p> <p>(1) 子どもの居場所づくりについて</p> <p>ア 長山コミュニティセンターでの検証と新たな設置について</p> <p>(2) 高齢者の居場所づくりについて</p> <p>(3) 長山小学校の跡地活用について</p>
7	椎塚俊裕	<p>1 学校教育が集団づくりより個別の児童生徒との関係づくりにシフトしつつあるなかで、不登校が減らない原因はどう捉えるのか</p> <p>(1) 今年度の不登校の状況</p> <p>(2) 教室以外への登校の実態と校内フリースクールの状況</p> <p>(3) スクールソーシャルワーカーの稼働状況</p> <p>(4) こども家庭センターなど福祉部局等との連携はどのようになっているのか</p> <p>(5) 不登校は社会の問題で学校だけではなく、親同士の助け合いも必要でコミュニケーションの場を提供することも必要ではないか</p> <p>(6) 不登校との向き合いには、長期に渡る時間が必要になります</p>

		<p>す。学びの多様化学校などフリースクールの受け皿も考えなければならぬ時期ではないでしょうか。ご見解をお伺いします</p> <p>2 STEAM教育の今後の展開について</p> <p>(1) 長山中学校でSTEAM教育のモデル校として進めています が、今年度のここまでの成果と、今後の展開についてお伺いします</p> <p>(2) STEAM教育を進めるにあたり小学校と中学校それぞれの取組状況と課題をお伺いします</p>
8	岡 部 賢 士	<p>1 外国人留学生との共生</p> <p>(1) ゴミや騒音など悪いマナーによるトラブル、迷惑行為</p> <p>ア 現状についての認識、対応状況</p> <p>イ 地域住民の外国人留学生に対する不安や嫌悪感の増大について市はどう捉えているか</p> <p>ウ 留学生を受け入れる学校の責務</p> <p>(2) 住居問題</p> <p>ア 4人家族向け一軒家に15人以上もの学生が入居している状況は法的な規制対象にならないのか</p> <p>イ 管理責任について、住宅のオーナーや管理・仲介を行う事業者への指導監督を行うべきでは</p> <p>(3) 近隣自治体、県、国との連携</p> <p>ア 学校や事業者に対して指導や責任追及できるような制度の構築や法改正など、国や県への働きかけを</p> <p>2 障がい者への配慮とユニバーサルデザインの推進</p> <p>(1) 障がい者の相談体制</p> <p>ア 現状と課題</p> <p>イ 相談者に寄り添った親身な対応を</p> <p>(2) 歩行空間や公共交通などのインフラ整備</p> <p>ア 整備の状況と課題</p> <p>(3) 今後の取組目標、考え方</p> <p>3 教育格差の是正（全ての子どもに平等な教育を）</p> <p>(1) 隠れ教育費の負担軽減</p> <p>ア 当市の取組の進捗状況</p> <p>(2) ランドセルの無償配布を</p> <p>ア 近隣自治体の取組状況</p>

		イ 当市の見解
9	石 嶋 照 幸	<p>1 本市のSTEAM教育について</p> <p>(1) 本市の現状について</p> <p>(2) 本市独自の内容はあるのか</p> <p>(3) 教員や指導員の状況について</p> <p>(4) 課題や展望について</p> <p>2 本市の防犯灯維持管理について</p> <p>(1) 設置状況及び維持管理の状況について</p> <p>(2) 自治会が維持している防犯灯について</p> <p>(3) 今後の課題について</p> <p>(4) 今後の展望について</p>
10	後 藤 光 秀	<p>1 いじめ問題について</p> <p>(1) 市内学校のいじめの現状</p> <p>(2) 本市の課題について</p> <p>(3) 今後の対策</p> <p>2 不登校児童生徒について</p> <p>(1) 不登校児童生徒数の推移</p> <p>(2) これまでの対応と課題</p> <p>(3) 多様化学校について</p>
11	加 藤 勉	<p>1 市民生活を公共交通で守れるのか</p> <p>(1) 各公共交通の役割分担（利用目的）を伺いたい</p> <p>(2) 市内公共交通の運賃政策について</p> <p>ア 各公共交通の運賃を伺いたい</p> <p>イ 市が関わる公共交通に関する運賃は、どのような考え方から設定されているのか</p> <p>ウ 運賃設定について、改めて考え方を整理すべきではないのか</p> <p>(3) AIオンデマンド交通「龍ヶ崎のるーと」について、市西部エリアへの運行拡大の可能性はあるのでしょうか</p> <p>(4) コミュニティバス循環ルートの使いにくさを改善すべきでは</p> <p>(5) ニュータウン関連民間路線バスの増便への取組について</p> <p>ア 現在の運行状況をどのように評価されているのか</p>

		<p>イ 利用者からは、どのような意見や要望等が寄せられているのか</p> <p>ウ 運行事業者とはどのような協議を行っているのか</p> <p>エ 龍ヶ崎市駅発20時以降の便について、最低でも1時間当たり1本以上は増便して欲しいのですが、具体的な改正案を示して運行事業者に働きかけてはどうか</p> <p>2 北竜台地区をどのように再生させるのか</p> <p>(1) 松葉・長山小学校跡地活用検討委員会について、これまでの協議内容と今後のスケジュールを伺いたい</p> <p>(2) 市が策定中の北竜台地区再生プランについて</p> <p>ア 現在の進捗状況を伺いたい</p> <p>イ 策定中の北竜台地区再生プランについては、どのタイミングで地域（住民の皆さんにも）に説明するのか</p> <p>(3) 市が策定中の再生プランと松葉・長山小学校跡地活用検討委員会での協議結果において、活用の考え方に齟齬が生じた場合はどのように調整するのか</p> <p>3 (旧)城南中学校の跡地活用に関する現在位置について</p> <p>(1) 令和6年11月11日に優先交渉権者が大和ハウス工業（株）茨城支店に決定してから1年以上が経過しているが、正式契約に至らない要因と現在の状況を伺いたい</p> <p>(2) 今後のスケジュールを伺いたい</p> <p>4 高齢者支援の取組について、「調査研究」ではなく、事業化への道筋をつけるべきと考えますが、市の考え方を伺いたい</p>
12	石引礼穂	<p>1 中学校の学習活動と高校の学習支援について</p> <p>(1) 市内高校が取り組む探究活動の支援について</p> <p>(2) 龍ヶ崎中学校で取り組む「STAGE学習」について</p> <p>2 まちなか創再生について</p> <p>(1) 「まちなかにぎわいづくり」の具体的な考え方</p> <p>(2) 空き店舗を活用した特色あるまちづくりについて</p>
13	杉野五郎	<p>1 「国民生活に関する調査」結果についての考察</p> <p>(1) 特筆すべき傾向</p> <p>「悩みや不安を感じている」との回答 77.9%</p> <p>(2) 「どのようなことについてか」についてなのか</p>

		<p>老後の生活設計が最多 64.1% (複数回答)</p> <p>(3) 何が求められているか</p> <p>2 「いばらき幸福度指標」での「県民幸福度」ランクについて</p> <p>(1) 全国ランク13位</p> <p>(2) 恒例の「魅力度調査」での全国46位との大きな乖離</p> <p>(3) 県での評価でのワースト分野</p> <p>(4) 当市での幸福度指標は</p> <p>3 「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」について</p> <p>(1) 前期基本計画での7つの政策の進捗度は</p> <p>(2) 後期基本計画の盛り込むべき、強化すべき政策・施策は何か</p> <p>(3) 上記(1)(2)での論議から導かれる最優先政策・施策とは</p>
14	山 村 尚	<p>1 龍ヶ崎市駅周辺における将来像の具現化と共有の在り方について</p> <p>(1) 都市計画マスタープランにおける駅周辺の位置付け</p> <p>(2) 駅前エリアの土地利用の現状と市の関与</p> <p>(3) 駅前ロータリー改修の目的と将来ビジョンとの関係</p> <p>(4) 駅前再編に向けた手法と支援制度の活用可能性</p> <p>(5) 龍ヶ崎市駅周辺の将来像に関する市長の基本姿勢</p> <p>2 台の下エリアの将来土地利用の方向性について</p> <p>(1) 都市計画マスタープラン上の位置付け</p> <p>(2) 位置付けの経緯と検討過程</p> <p>(3) 当該地の制約内容と活用の可能性、地区計画への見解</p> <p>(4) 将来像整理に向けた基礎調査等の必要性</p> <p>(5) 台の下エリアの将来土地利用に対する市長の考え</p>
15	大 野 誠一郎	<p>1 公共施設の太陽光発電施設について</p> <p>(1) 公共施設の太陽光発電施設のP P A事業については、T Nクロス(株)が専門性、技術力、企画力の最も優れた提案を行ったもの(優先交渉権者)として選定されたが、どのような提案がなされ、他社と比べて、どのような点が優れた提案だったのかを比較して説明していただきたい</p> <p>(2) 公募に示された買電価格の上限価格をお尋ねします</p> <p>(3) 公設公営、P P A事業、リースの導入方式の経済性比較は</p>

		<p>(4) 本庁舎、たつのこアリーナ、城西中学校、馴柴コミセンの4施設で行われている公設公営の現状は</p> <p>(5) 予定されている公共施設の太陽光発電施設の自給率は城ノ内中学校11.1%から龍ヶ崎小学校23.1%と低い自給率だが、CO₂削減効果とゼロカーボンシティへの貢献度は</p> <p>(6) 民間会社に対するPPA事業の普及、波及効果は</p> <p>(7) その他ゼロカーボンシティの取組の削減効果は</p> <p>(8) CO₂を2013年と比して2030年に46%削減することは可能か。また、2050年のゼロカーボンシティの実現は可能か</p> <p>2 立木の伐採について</p> <p>(1) 龍ヶ岡公園の立木伐採について</p> <p>(2) 江川の立木伐採について</p> <p>3 スポーツライミングのまち龍ヶ崎について</p> <p>(1) 基本構想を策定してからこれまでの若者の呼び寄せ、賑わいの創出、産業の振興、地域の経済波及効果の進捗状況</p>
--	--	--